御案内

本会第一一七回大会を次のように開きます。ふるって御参加下さい。

記

一　期　日　二〇一九年一一月九日（土）・一〇日（日）

一　場　所　東京大学（本郷）

一　参加費　一般二〇〇〇円　会員一〇〇〇円　学生（大学院生含む）五〇〇円
事前申込不要。両日参加できます。

一　第六回史学会賞授賞式　法文二号館一番大教室（一一月九日　午後一時）

一　公開シンポジウム「天皇像の歴史を考える」
法文二号館一番大教室（一一月九日　午後一時）

司会・趣旨説明　家永　遵嗣・村和明

報　告
鎌倉時代の天皇像と院政・武家　佐藤雄基
尊王思想と出版統制・編纂事業　清水光明
歴史叙述のなかの「継体」　遠藤慶太
コメント　近藤和彦
討　論

一　総　会　法文二号館一番大教室（一一月九日　午後五時四〇分）

一　懇親会　山上会館地下会議室（一一月九日　午後六時三〇分）
会費三〇〇〇円　立食形式です。お気軽にご参集下さい。

一　部　会　（一一月一〇日）――詳細は別紙を参照――

日本史部会
古代史部会　法文二号館一番大教室　研究発表　午前一〇時三〇分
シンポジウム「日本律令制と中国文明」午後一時
中世史部会　国際学術総合研究棟三番大教室　研究発表　午後一時
近世史部会　法文一号館三一五番教室　研究発表　午後一時
近現代史部会　法文一号館三一二、三一五番教室　研究発表　午前九時
法文二号館二番大教室
シンポジウム「近代天皇制と皇室制度を考える」午後一時三〇分
東洋史部会　法文一号館一一三番教室　研究発表　午前一〇時
西洋史部会　法文一号館二一五番教室　研究発表　午前一〇時三〇分

二〇一九年九月二〇日

公益財団法人　史学会

各位

部会プログラム

日本史部会

古代史部会　法文二号館一番大教室
研究発表（午前一〇時三〇分～一一時）
1. 唐代前期の州と日本古代の国司――官と公事情報にみる摂関期貴族社会の構造――　中村重憲
2. 日本律令制と中国文明」（午後一時～五時）　中田香澄
シンポジウム
趣旨説明・司会　大津・透・武井紀子
報告
1. 日本律令と律令軍制――門籍と門牓制をめぐる日唐比較試論――　古田一史
2. 国家喪礼からみた律令官僚機構――律令制における法と学術――　市大樹
3. 足利義教と諸職――室町幕府守護職権拡大の起点――　榎山洋
4. 応永期興福寺諸職任――室町幕府――興福寺関係の変化――　坂本淳一
5. 中世後期の寺院入名意見――室町幕府――　水野圭士
6. 室町・戦国期における吉田家の動向と官人陰陽師――　林譲
7. 観応の擾乱前後の国大将――足利義詮政権期における武家祈禱体制の転換――　濱野未来
コメント　坂井和馬
討論　野口飛香留

中世史部会　国際学術総合研究棟三番大教室
研究発表（午後一時～四時四〇分）
1. 彦根藩――近世城下町における米切手と古域経済の流通――　立石了
2. 地方佐倉領――宮市における変容と地役人――　福重恵
3. 近世大名家の成立過程における重臣の位置づけについて――　山本一
4. 近世地方の支配――永都の江戸周辺地域における火薬流通の構造――　寺内佳
5. 弘化・嘉永期の――討幕派――考　菊地悠
6. 寄――　田智真
近世史部会　法文一号館三一五番教室
研究発表（午後一時～四時二〇分）
1. 年寄――近世大名家の成立過程における重臣の位置づけについて――　木村聡
2. 外様――欧米派の形成――　塚原浩
3. 第一会場（午前九時～一二時）　趙太郎
4. 第四艦隊事件――幕府原外務次官時代の本省幹部人事の分析――　種稲秀司
5. 翼賛体制選挙――日本海軍と新聞報道――　伊東かおり
6. 戦間期における社会存在形態――　前田修輔
7. 戦後日本の国家と――下情上通――　高橋亮一
8. 開拓使――移民――　上西晴也
9. 初期農商務省――議員の登場――　谷川みらい
10. 明治末期の――国際派――　桑田
11. 請願――終焉――　石坂桜翔
12. 顧問――鹿児島県――
研究発表（午前九時～一二時）
1. 北方海域――名古屋市を中心に――　椎名一雄
2. 第二会場（午前九時～一二時）　松田涵
3. 宋代から――蘇州と――　庄亮淇
4. 北宋仁宗期――朝鮮――　松浦晶子
5. 明治――皇室財政――　渡部良子
6. 立憲――皇室自治――　鈴木真吾
7. 近代――皇族――　中村祐也
8. 旅大回収運動（一九二三年）――　吉澤誠一郎
シンポジウム
趣旨説明・司会　朴完
報告
1. 皇室財政と――初期議会期を中心として――　坂本一登
2. 明治憲政――帝都――
3. 立憲――建築――
4. 皇室――宮中――
5. 皇室財政――問題――
6. 皇族――
7. 皇族――
8. 皇族――
コメント
討論

近現代史部会
研究発表（午前一〇時～一二時）
1. 秦漢時代――『嶽麓書院藏秦簡』を手掛かりに――　加藤陽子
2. 北宋――封建――
3. 宋代――園――
4. 北宋――
5. 明治――
6. 立憲――
7. 近代――
8. 旅大回収運動（一九二三年）――
研究発表（午後一時～三〇分）
1. 朝鮮――
2. 朝鮮――
3. 朝鮮――
4. 朝鮮――
5. 朝鮮――
6. 朝鮮――
7. 朝鮮――
8. 朝鮮――
シンポジウム
趣旨説明・司会　池田さなえ
報告
1. 皇室財政と――初期議会期を中心として――　長谷川香
2. 明治立憲――帝都――　国分航士
3. 立憲――建築――　加藤祐介
4. 皇室――宮中――
5. 皇室財政――問題――
6. 皇族――
7. 皇族――
8. 皇族――
コメント
討論

東洋史部会　法文一号館一一三番教室

研究発表（午前一〇時～一二時）
1. 秦漢時代――『嶽麓書院藏秦簡』を手掛かりに――　椎名一雄
2. 北宋――封建――　松田涵
3. 宋代――園――　庄亮淇
4. 北宋――　松浦晶子
5. 明治――　渡部良子
6. 立憲――　鈴木真吾
7. 近代――　中村祐也
8. 旅大回収運動（一九二三年）――　吉澤誠一郎
研究発表（午後一時～三〇分～四時五〇分）
1. 朝鮮――　小川潤
2. 朝鮮――　柴田広志
3. 朝鮮――
4. 朝鮮――
5. 朝鮮――
6. 朝鮮――
7. 朝鮮――
8. 朝鮮――
シンポジウム
趣旨説明・司会　長島淳
報告
1. 皇室財政と――初期議会期を中心として――　佐々木淳希
2. 明治憲政――帝都――
3. 立憲――建築――
4. 皇室――宮中――
5. 皇室財政――問題――
6. 皇族――
7. 皇族――
8. 皇族――
コメント
討論

西洋史部会　法文一号館二一五番教室

研究発表（午前一〇時三〇分～一一時五〇分）
1. 帝政前期――ローマ帝国西方におけるパグスの統治機構――　高橋謙公
2. ペルガモン独立時期――ガリア・ヒスパニア・イタリアにおける碑文史料検討――　望月澪
3. 一四世紀――アッタロス一世契機の考察――　小風綾乃
4. 近世ドイツ――レルモ海――
5. 摂政政府による――識学――
6. フランス革命期における――パリ王立科学アカデミーへの財政的庇護（一七一五―一七一八）――
7. 一九六〇年代後半における――フランス軍内での位置づけの変化――
研究発表（午後一時～三〇分～四時五〇分）
1. 近代――オスマン帝国における疫病と民衆――医療社会史の視点から――
2. 朝鮮――西路電線の利用とその維持――
3. 朝鮮――
4. 朝鮮――
5. 朝鮮――
6. 朝鮮――
7. 朝鮮――
8. 朝鮮――
シンポジウム
趣旨説明・司会　武井紀子
報告
1. 皇室財政と――初期議会期を中心として――　坂本一登
2. 明治憲政――帝都――
3. 立憲――建築――
4. 皇室――宮中――
5. 皇室財政――問題――
6. 皇族――
7. 皇族――
8. 皇族――
コメント
討論